

瀬田アーバンホテルにおけるクールビズの取組について

瀬田アーバンホテル(<http://www.seta-urban.co.jp/>)

チーム員である瀬田アーバンホテルでは、2000年にISO14001認証取得に取り組んで以降(認証が2000年であれば、「2000年にISO14001を取得した以降」との表現になる)、「環境に配慮したホテル」をスローガンにさまざまな環境保全活動を進めてきました。

その一つが、クールビズの取組。関西広域機構が奨励する「夏のエコスタイルキャンペーン」に参加し、冷房の設定温度を28度にする取組をはじめました。実は、このエコスタイルキャンペーン、2000年から行われており、瀬田アーバンホテルはその当初から取組を展開してきました。

その瀬田アーバンホテルのクールビズの取組は、ホテルのロビー、階段等共用部分と事務所を28℃に設定し、従業員の夏の制服としてピンクの半袖ボタンダウンシャツを採用するというものでした。

当初はお客様からのクレームを覚悟していましたが、お客様にご理解いただくために、エレベーター近くにクールビズの取組を紹介するパネルを掲示するなど工夫を凝らしたこともあり、意外とスムーズにいきました。以降、お客様からのコメントカードを見ても「サマースタイルが素敵ですね」「環境への取組に熱心ですね」といった肯定的な意見が多く、当ホテルではクールビズがすっかり定着してきました。

そうした中、瀬田アーバンホテルでは、今後の温暖化防止対策の推進に少しでも貢献したいとの思いから、チーム・マイナス6%と連携して、お客様に対してクールビズの取組に関するアンケート調査(クールビズ体感調査)を8月25日～31日まで、実施しました。

結果は、一部気温が30度を下回る日もございましたが、アンケートにお答えいただいた方のうち、全ての方が、「適温である」または「やや暑いが、特段支障なかった」と回答するなど、取組に対して肯定的な回答が寄せられました。

特に、28度設定の取組について、「ホテル内の共有スペースが28℃であることに気づきませんでした。意識することも取組上、大切なことですので、目につく大きさを温度表示をすべきと考えます」といった意見も寄せられるなどしまして、今後の取組の参考にしていきたいと考えております。

<アンケート調査結果>

【調査日時】 8月25日～31日(7日間)

【調査方法】 宿泊者を対象として、調査員による任意の書面アンケート調査

【サンプル数】 52

※スコアは小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを掲載する

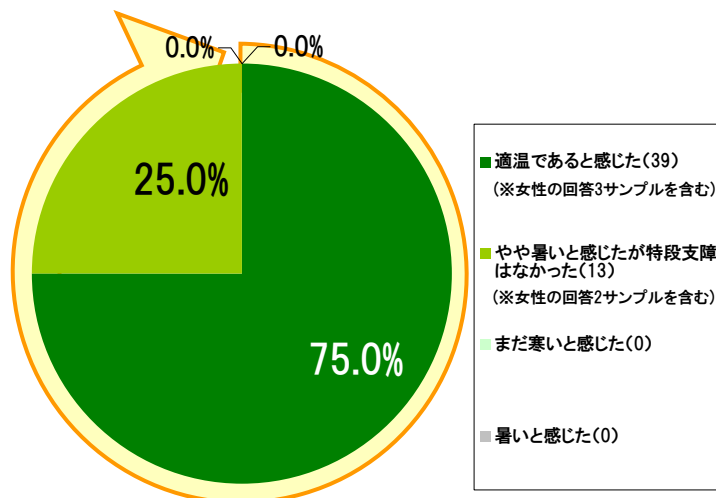
(1)館内の室温についてどのように感じましたか

<「適温」「ならびにやや暑いが特段支障はなかった」と感じた計>

100%

(n=52)

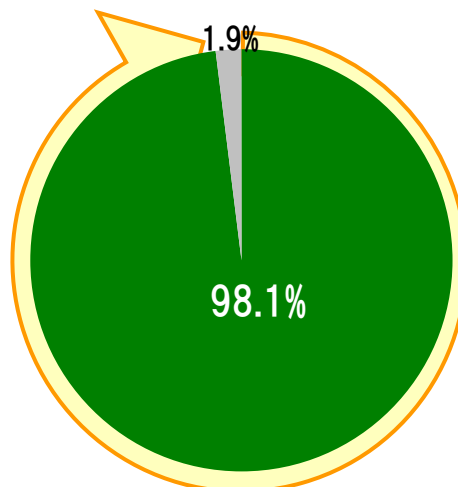
(※「適温であると感じた」人数の割合:75%)



(2)地球温暖化対策のために、今後この取組を続けるべきと思いますか

<地球温暖化対策のために今後この取組を
続けるべきと考えている人の割合> (n=52)

98.1%



■ 続けるべき(51)

■ 続けるべき(51)
(※女性の回答5サンプルを含む)

■ 続けるべきでない(1)

<今回の試験的取組によせられた意見> (自由回答:14件) ※重複回答あり

- このような取組を支持する(6件)
- 取組自体には賛同するが、もっと工夫が必要だ(3件)
(業務効率や天候によって設定温度を変更するetc)
- 他のスペースでも実施するなどして取組を拡大していくべき
- とてもサービスが行き届いて良いと思う
- このような取り組みはもっと広報するべきだ
- 適温については再考の余地があると思う
- 地球環境だけではなく、健康にも良いので続けてほしい
- もっとクールビズを推進していくべき



滋賀県大津市にある瀬田アーバンホテルでは、エコスタイル導入5年目に、夏の制服をモデルチェンジ。暖色系から寒色系に変えました



エレベーター付近にも「COOL BIZを実践しています」とパネルでアピール



宿泊のついでに環境についても学んでほしいと、手作りされた「かんきょうハンドブック」